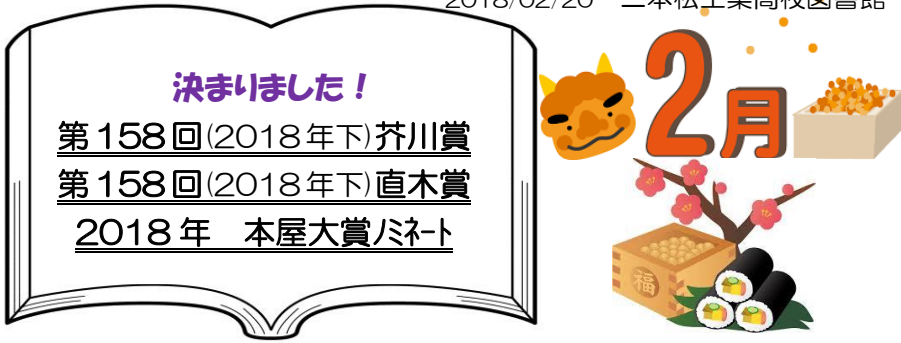


図書館だより

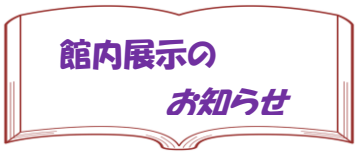
2018/02/20 二本松工業高校図書館

第158回(2018年下半期)芥川賞・直木賞と各候補作、2018年本屋大賞ノミネート作が入荷しました。



第158回	タイトル	内容紹介	著者	著者紹介	出版者
芥川賞		『おらおらでひとりいぐも』 74歳、ひとり暮らしの桃子さん。おらの今は、こわいものなし！新たな老いの境地を描いた作品。	若竹千佐子	遠野市出身、史上最年長受賞	河出書房新社
芥川賞		『百年泥』 ^{ひゃくねんどろ} チェンナイ生活三か月半にして百年に一度の洪水に遭遇。魔術的でリアルな新文学。	石井遊佳	インド、チェンナイ市在住の日本語教師	新潮社
芥川賞候補		『愛が挟み撃ち』 愛とは何か？愛は存在するのだろうか。愛が信じられない男をめぐる三角関係。	前田司郎		文藝春秋
芥川賞候補		『雪子さんの足音』 大学時代を過ごしたアパートの大家・雪子さんが、熱中症でひとり亡くなったことを知った…	木村紅美		講談社
芥川賞候補		『ディレイ・エフェクト』 三編の短編集	宮内悠介		文藝春秋
直木賞		『銀河鉄道の父』 宮沢賢治の生涯を、父・政次郎の視点から描く。	門井慶喜		講談社
直木賞候補		『ふたご』 彼は、わたしの人生の破壊者であり、創造者だった。異彩の少年に導かれた孤独な少女。その苦悩の先に見つけた確かな光…	藤崎彩織	SEKAI NO OWARI Saori 初小説	文藝春秋
直木賞候補		『くちなし』 別れた愛人の左腕と暮らす「くちなし」など、七編の短編集。	彩瀬まる		文藝春秋
直木賞候補		『火定』 時は天平、天然痘の蔓延、生と死の狭間で繰り広げられる人間絵巻。	澤田瞳子		PHP 研究所
直木賞候補		『彼方の友へ』 戦中の東京、雑誌づくりに夢と情熱を抱いて…	伊吹有喜		実業之日本社

★2018年本屋大賞ノミネート作★		
タイトル	著者	出版者
『AX(アックス)』 <殺し屋シリーズ>最新作	伊坂幸太郎	KADOKAWA
『キラキラ共和国』 『ツバキ文具店』の続編	小川糸	幻冬舎
『かがみの孤城』	辻村深月	ポプラ社
『星の子』 第157回芥川賞候補	今村夏子	朝日新聞出版
『盤上の向日葵』	柚月裕子	中央公論新社
『百貨の魔法』	村山早紀	ポプラ社
『崩れる脳を抱きしめて』	知念実希人	実業之日本社
『騙し絵の牙』	塩田武士	KADOKAWA
『たゆたえども沈まず』	原田マハ	幻冬舎
『屍人荘の殺人』	今村昌弘	東京創元社



- ①図書館カウンターに過去の「本屋大賞」受賞作と、今年のノミネート作を展示しました。
- ②アクティブ・ラーニング、ペップトークの本が揃いました。

★本屋大賞とは、「全国書店員が選んだいちばん！売りたい本」というキャッチコピーの通り、書店員の投票だけで選ばれる賞です。



新着図書

新たに購入した本、生徒からの寄贈本などの中からいくつか紹介します。



- 『広辞苑 第七版』 新村出 // 編 岩波書店 **新たに1万語を追加**
- 『ONE PEACE 37～87』 尾田栄一郎 // 著 集英社 **館内用、貸出できません**
- 『キングダム 48 49』 原泰久 // 著 集英社 **最新刊**
- 『ハイキュー！！ 30 失恋』 古舘春一 // 著 集英社 **最新刊**
- 『応仁の乱 戦国時代を生んだ大乱』 呉座勇一 // 著 中央公論新社
- 2017年 年間ベストセラー**
- 『ルビンの壺が割れた』 宿野かほる // 著 新潮社 **「覆面作家」によるデビュー作**
- 『きまぐれな夜食カフェ マカン・マランみたび』 古内一絵 // 著 中央公論新社 **圧倒的人気のお仕事&お料理小説、第三弾!**
- 『掟上今日子の色見本』 西尾維新 // 著 講談社 **シリーズ最新作!**

